

# だい かいしやう どうじやう 第7回省エネ道場まとめ

## 自然とエネルギーと人間

### 1 しぜん さいがい 自然と災害

れいわがねん たいふう にほん おお じやうりく おお ひがい  
令和元年には、台風が日本に多く上陸し、大きな被害をもたらしました。  
また、たいふう だけでなく、かざん ぶんか ひで ほかに、他にもさまざまな自然  
さいがい さいがい ふうせ ひがい すく くふう たいせつ  
災害があります。災害を防いだり、被害を少なくすませる工夫が大切です。

### 2 ちきゅう でんき 地球のエネルギーを電気に

ところで、にんげん べんり でんき つか  
ところで、人間は、便利なエネルギーとして「電気」を使っています。  
これまで、せきゆ せきたん も でんき つく  
これまでは、石油や石炭を燃やしたりして電気を作ってきました。しかし、  
せきゆ せきたん も ちちゅう にさんかたんそ たいきちゅう  
石油や石炭を燃やすと、地中にあったものが二酸化炭素として大気中に  
ほうしゅつ ちきゅうおんだんか い  
放出されてしまい、地球温暖化につながると言われています。  
さいきん にさんかたんそ はいしゅつ かぜ みず ちねつ たいようこう  
そこで最近では、二酸化炭素を排出しない、風、水、地熱、太陽光など、  
さいせいかのう つか でんき つく  
「再生可能エネルギー」を使って電気を作ることがすすめられています。

### 3 く くふう バランスよく暮らす工夫

かぜ みず ちねつ たいようこう でんき か はんめん  
風、水、地熱、太陽光などは、電気に変えることができる反面、ときお  
り強すぎてにんげん さいがい  
り強すぎて人間にとっては災害となってしまうことがあります。「再生  
かのう つか はつでん こうりつ たか くふう はし  
可能エネルギー」を使った発電の効率を高めることへの「工夫」が始まっ  
ています。さらに、はつでん あわ しぜんさいがい ちきゅうおんだんか たいさく  
ています。さらに、発電と併せて、自然災害や地球温暖化への対策もすす  
められれば、とても有意義です。

でんき せつやく つか でんき  
「電気を節約して使う」だけでなく、「電気はどのようにしてできる  
のかがわかる」、「電気のもつ特徴がわかる」、さらに「暮らし全体をムダ  
なくよくしていく あたら くふう かんが だ おも  
新しく新しい工夫を考え出せる」ようになってほしいと思います。